

# ダイコン新品種『春風太』の特性と栽培のポイント

雪印種苗(株) 千葉研究農場

松井 誠二

## 1 はじめに

トンネルを使った春ダイコンは暖地、一般地、冷涼地で栽培が定着し、各地で早出しが行われています。その中でも、暖地ではその気候条件を生かしてトンネルでの播種期の前進化が図られ、早播きの作型が存在しています。この作型の収穫時期は春ダイコンのはしりの時期に当たるため、市場価格も安定しています。

ただし、早播きの作型は過酷な越冬栽培となるため、品質、揃い性の点で指摘が多く、その改善が求められていました。

弊社では、このたび耐寒性が強く、越冬栽培に向く青首総太り春ダイコンとして『春風太』(試作系統名:SB7016)を新発表しましたので、ご紹介致します。

## 2 『春風太』の特性(表1参照)

＝耐寒性が強く、極晩抽性で、根が長めに揃う総太りダイコン＝

### ① 耐寒性がある葉

耐寒性が強く、濃緑色のコンパクトな小葉で、厳寒期での葉の黄化が極めて少なく、作りやすいです。開張性で初期生育はやや遅め

です。

### ② 極晩抽性

安定した極晩抽性で、越冬春どりに向きます。収穫期の抽苔の心配が少なく、安心して出荷できます。

### ③ 長めの総太りにきれいに揃う

根長38～40cm、根径7cm、根重1.3kg。厳寒期であるため、普通、根形が肩こけ、くさび形などになりやすい時期ですが、『春風太』は耐寒性が強く、根形がボリュームのある総太り型に揃うのが特徴です。根長は長めに良く揃い、

表1 『春風太』の生育特性-1

(雪印種苗・千葉研究農場<千葉市>)

品種名	根長 (cm)	根径 (cm)	根重 (kg)	根形 (9~1)	揃い (9~1)	尻つまり (9~1)	青首 (9~1)	ひげ根 (9~1)	抽苔率 (%)
＜平成7年10月23日播種、ハウス栽培、3月8日調査＞									
春風太	37.0	6.9	1.46	7.0	7.0	6.0	6.0	6.0	0
他社H	38.8	6.9	1.39	6.5	6.0	5.5	5.5	6.5	0
＜平成7年12月19日播種、トンネルべたがけ栽培、4月11日調査＞									
春風太	38.1	6.9	1.16	6.0	6.5	5.0	7.0	6.0	0
他社H	39.7	7.0	1.26	6.0	6.0	5.0	6.0	6.0	0
他社T	39.7	6.4	1.09	5.5	6.5	4.0	6.0	6.0	0

評点 根形=9;総太~1;くさび、揃い・尻つまり・肌=9;極良~1;極不良、ひげ根=9;極細~1;極太、青首=9;極濃~1;極淡

『春風太』の生育特性-2

(千葉農試・東総野菜研究室の試験成績より抜粋)

品種名	調整重 (g)	抽根長 (cm)	根長 (cm)	根径 (cm)	肩こけ	尻つまり	根形の揃い	ひげ根
＜平成6年12月5日播種、トンネルべたがけ栽培、4月3日調査＞								
春風太	1,240	7.3	35.0	7.4	小(0)	中(3)	良	中
他社H	1,170	9.5	35.0	7.4	微(0)	中(44)	やや良	やや太
他社T	1,200	9.3	36.2	7.2	小(0)	中(59)	中	中

注) 肩こけ(激、大、中、小、微~無)、尻つまり(不良、やや不良、中、やや良、良) カッコ内の数値は「激、大」または、「不良、やや不良」の発生割合(%)。



写真2 暖地ではトンネルの早播き栽培が盛ん『春風太』の収穫が始まる

短根の発生は少ないです（写真1，2）。

#### ④ 吸い込み性の青首

抽根部は耐寒性が強い吸い込みタイプですので、厳寒期での肩こけや裂皮になりにくく、秀品率を高めます。なお、圃場は必ず深く耕し、高畦マルチとして下さい。

#### ⑤ 青首

早春どりのイメージに合ったやや濃緑で鮮やかな青首です。ひげ根は若干見られますが、肌は春系の中では光沢があり、洗い上がりは良好です。

#### ⑥ す入り

す入りは遅く、肉質はち密で水々しく上々です。

#### ⑦ 収穫

抽根が遅いため、7～9 cm くらい抽根して肩

が張ってきたら収穫します。

### 3 『春風太』の適作型と栽培のポイント

（●—●：播種期 ■：収穫期）

#### 1) 暖地・トンネルべたがけ栽培

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
-----	-----	-----	----	----	----	----



☆マルチは条間 35 cm，株間 25 cm の 4 条ドリの高畦で、トンネルは保温力のある厚さ 0.1 mm，幅 270 cm の農ビを基本として下さい。

☆圃場は保水性の良い肥沃な所を選び、良く深耕した後に水分が十分にある状態でマルチを張るように努めて下さい。過度な乾燥低温条件等では『横しま症』等の発生が心配されます。

☆土作りとしてハイオーツ等の緑肥作物のすき込みが有効ですが、十分に分解させてからダイコンを播種して下さい。

☆施肥量は N - P - K = 13 - 9 - 20 - 10kg / 10a を目安とし、播種が遅れるに従い減らして下さい。

☆ 10 月下旬～11 月播きでは生育初期の気温が高いため、播種時からトンネルの裾を少し開け、生育の徒長を防ぎます。冷え込みが厳しくなる年内からべたがけを被覆することによって生育が順調に進みますが、かえってトンネル内の湿度が高くなる場合は裾換気を行なって下さい。べたがけは寒害の心配がなくなる 2 月途中には除去し、トンネルの裾換気も 2 月以降の陽気のみて徐々に多くし、3 月下旬には除去して下さい。

#### 2) 暖地・ハウス栽培

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
-----	-----	-----	----	----	----	----



☆播種前に十分に散水し、良く深耕しておきます。

☆日中気温が上がり蒸れやすい時期は換気を十分に行なって下さい。



### 3) 一般地・トンネルべたがけ栽培

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
-----	-----	-----	----	----	----	----



☆播種～初期生育時が厳寒期となるため、播種時からトンネルべたがけ被覆とし、十分保温して初期生育を進めるとともに花芽の分化を遅らせます。本葉7～8枚以降は陽気とトンネル内の蒸れをみながら裾換気を始めます。べたがけは2月中下旬を目安に除去し、トンネルの換気は3月から徐々に多くし、3月末までには除去して下さい。

☆施肥量はN-P-K=10～8-20-10 kg/10aを目安とし、播種が遅れるに従い減らして下さい。

☆遅播きは長根となり品質も低下しますので、播種を避けて下さい。

### 4) 一般地：ハウス栽培

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
-----	-----	-----	----	----	----	----



☆最低気温が-5℃以下になる場所では凍害を受けやすいので、厳寒期はトンネルやべたがけで

十分保温して下さい。

### 5) 暖地沿岸部・露地べたがけ栽培

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
-----	-----	-----	----	----	----	----



☆耐寒性が強く栽培が可能ですが、保水性があり、肥沃で暖かい圃場を選定して下さい。

## 4 むすび

『春風太』はトンネルの早播きに最も適した品種ですが、越冬栽培ゆえに栽培しづらい作型でもあります。本文より品種の特性を良く理解して頂くとともに、一方で、土作りにもより一層に取り組んで頂ければ幸いです。

### 訂正

本誌第44巻第9号の「プロイラーへの微生物飼料の給与」記事で、下記のとおり誤りがありましたので、訂正いたします。

12頁 3) ランニングコストの低減誤

また、従来、年間650,000円程度支払い

正 また、従来、年間640,500円支払い

### キタネグサレ線虫 対抗作物



北海道  
普及奨励  
(平成31年)

### 緑肥用エンバク

## ヘイオーツ

1. キタネグサレ線虫抑制効果が高く、その効果はマリーゴールドと同程度。
2. マリーゴールドより栽培容易で、はるかに実用的。
3. 根物野菜の前後作に最適（ダイコンの商品化率100%）。
4. 細葉・細茎ですき込み、分解が容易。

●播種期：北海道・高冷地

5月上～6月中旬、7月下～8月中旬、8月下～9月上旬

府県一般地・暖地

3月上～5月下旬、8月下～9月上旬、10月下～11月下旬

●播種量：10～15 kg/10a散播

(線虫対策は15 kg/10a)



ヘイオーツの後では、立派な大根が採れる。